

事業番号	06 04 03	事業改善シート (令和5年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水道対策事業費	部局	環境部	課・室	水道・生活排水課	
		実施期間	S55 ~	E-mail	seikatsuhaisui @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・生活基盤耐震化等交付金により実施している事業において、管路耐震化事業の達成率は12.1%（令和3年度末）となっており、今後も計画的な耐震化が必要である。一方で、国の予算状況により、国庫補助要望額以下になる事業年度があり、事業計画の見直し等計画的な整備に支障が生じている。また、小規模な水道事業者の活用を促進するために、国庫補助の採択基準の緩和が必要である。

・水道事業の経営基盤強化に向けた広域連携を具体的に進めるためには、客観的なデータに基づき効果を検証した上で検討していく必要がある。

2 事業目的

老朽化した水道施設の更新や防災・減災に向けた水道施設の耐震化を推進し、また、広域連携等による経営の効率化を行う等、事業の基盤強化を図っていくことで、将来にわたり持続可能な水道水の供給を実現する。

3 事業目的を達成するための取組

- ①水道施設の整備に係る国庫補助の活用を促進
- ・運営基盤の強化に向け、水道施設の耐震化等水道整備事業に対し助成するとともに、助言・指導を実施
 - ・活用しやすい国庫補助制度の拡充に向けた要望活動を行いつつ、水道事業者の活用を促進
- ②水道事業の経営基盤強化に向けた広域連携の推進
- ・令和4年度に策定した各圏域の「水道広域連携推進方針」に基づき実施する広域連携の検討等に対し、アドバイザー派遣等による専門的な指導・助言を行い、水道事業の広域連携を推進

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	水道事業における管路耐震化事業の達成率 (R3~R7)	%	12.1	28.7	↗	38.1	↗	58.6	未達成	長野県生活基盤施設耐震化等事業計画において5年以内に実施する管路耐震化事業の達成率を100%にすることが目標であるため、3年目であるR5年度は58.6%を目標とする。	
②	(参考指標) 上水道・用水供給における 基幹管路の耐震化適合率	%	38.4 令和2年 度	39.0 令和3年 度	↗	39.7 令和4年 度	↗	—	—		

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野 (施策の総合的展開名)	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-3①	社会的なインフラの維持・発展	水道の広域連携を実施する圏域数	圏域	2022 (R4)	0	2023 (R5)	0				2027 (R9)	9

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	251,290	1,296,132	42,729	1,590,151	558	968,324	3.0
R4年度	81,960	1,533,922	△ 289,222	1,326,660	1,803	1,065,164	3.0
R3年度	23,643	1,212,864	△ 159,739	1,076,768	17,625	992,895	3.0

事業名	水道対策事業費	部局	環境部	課・室	水道・生活排水課
-----	----------------	----	-----	-----	----------

7 主な取組実績と成果

①水道施設の整備に係る国庫補助の活用を促進

水道施設の耐震化等水道整備事業に対し助成や助言・指導を実施し、運営基盤の強化を図った。



水道管の交換

②水道事業の経営基盤強化に向けた広域連携の推進

各圏域ごとの広域連携推進方針に基づき、「広域連携検討の場（構成：市町村等水道事業者・県）」において具体的な広域連携の内容や進め方について協議を行った。この結果、各圏域で共同化を検討する事務の選定が行われ、可能なものから順次共同化を実施することとなった。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	水道事業における管路耐震化事業の達成率（R3～R7）	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
資材単価及び労務費の高騰により、計画していた延長の整備ができなかったため。また、工事発注及び着手に際して不測の期間を要し、年度内に整備完了できなかったため。							
指標②	（参考指標）上水道・用水供給における基幹管路の耐震化適合率	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	—

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・昨今の資材単価及び労務費の高騰を見込んだ予算の確保ができておらず、計画していた延長の整備ができていない。工事発注及び着手に際して不測の期間を要し、年度内に整備完了ができていない。
- ・能登半島地震も踏まえて、水道施設の耐震化等を促進するためにも、広域連携の議論を加速させ、早急に経営基盤の強化を図る必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・予算の確保にあたっては昨今の資材単価及び労務費の高騰を見込み、充分な額の確保に努める必要がある旨、事業者に指導を行う。
- ・前年度より各関係機関との調整等を確実に進め、円滑な事業執行に努めるよう事業者に指導を行う。
- ・各圏域で共同化を検討する事務について、担当者による作業部会を複数回開催し、共同化の実現につなげる。

事業名	水道対策事業費	部局	環境部	課・室	水道・生活排水課
-----	---------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	水道施設整備促進事業費		992,895 千円	1,065,164 千円	968,324 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	水道施設整備促進事業	直接	水道事業者に対する施設の整備、災害対応等の指導 指導件数156件		
2	水道事業経営基盤強化支援アドバイザー派遣事業	直接	広域連携の課題に対し、アドバイザーによる専門的知見からの指導・助言を実施 圏域毎に開催する「広域連携検討の場」を各3回実施		
3	生活基盤施設耐震化等補助金事業	補助金	市町村等が行う施設の耐震化、広域化等の運営基盤の強化に資する水道施設整備事業に対する助成 助成先：長野市ほか22市町村、補助総額962,349千円（翌年度への繰越明許費617,158千円を除く）		